

いわきのなかま 平和学習

本校では、各学年がそれぞれ適切な時期に平和学習を行いました。社会の出来事に興味・関心を持たせ、社会的な事柄を多角的に見ることができるようにすることで、互いの違いを知り、共に生きることができる資質や能力を育むことを目的としています。先の大戦での出来事を知り、日常の生活においても発生する対立をより平和的に解決できるなど、自分と他者を大切にできるようになってほしいと思っています。

各学年の取り組みを紹介します。

1年 『よっちゃんのびいだま』

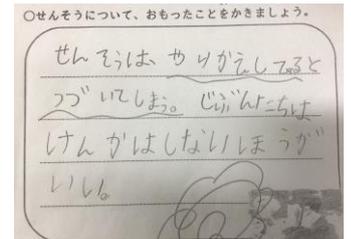
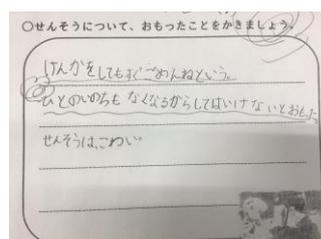
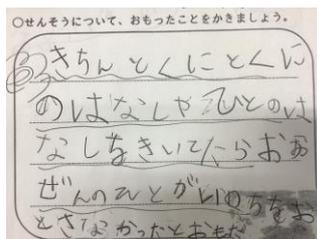
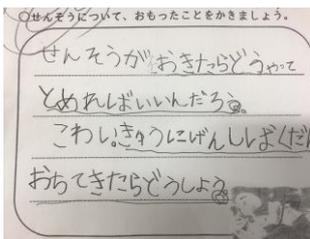
ねらい

広島で被爆死した少年の物語を通して、戦争の恐ろしさや平和の尊さを感じ、命を大切にしていきたいという心情を育てる。

自分たちと同じ子どもが主人公の実話を通して、原爆の恐ろしさや大切な人が亡くなる悲しみを伝えることで、戦争について考える機会に繋がりました。

○戦争について、思ったことを書きましょう。

ワークシートに取り組んで意見交流を行うことで、戦争で家族を失う怖さや今の平和な日常の大切さに気が付くことができました。



2年 『かわいそうなぞう』 『へいわってどんなこと』

ねらい

戦争の悲惨さや恐ろしさを知り、命の大切さを考えることを通して、平和な世界を築いていきたいという心情を養う。

自分にとって大切な人や将来の夢を話し合い、戦争がおこれば今、当たり前だと思っている生活や、当たり前を訪れると思っている将来が奪われてしまうことに気付かせました。その後、『かわいそうなぞう』の絵本を読み聞かせしました。

○2頭が芸当をする姿を見て、ぞう係の人はどんなことを思ったのでしょうか。

○トンキーが死んでしまったとき、動物園の人たちはどんなことを思ったのでしょうか。

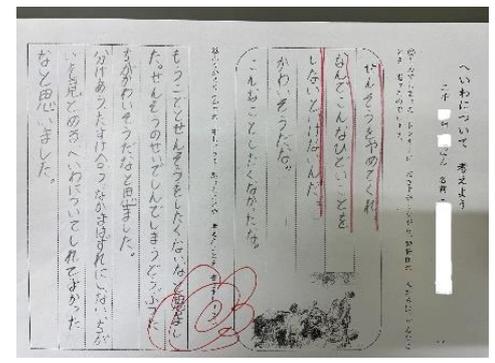
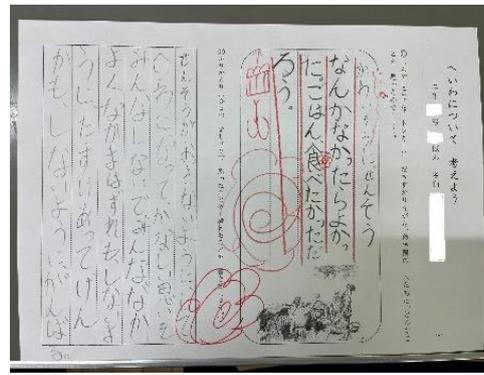
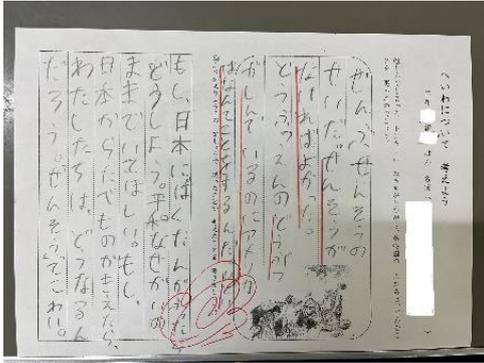
の2点を中心に考え、意見交流しました。戦争のことを知った後に、『へいわってどんなこと』の本を読み聞かせをしました。

○平和な世界にするためにどんなことが大切なのでしょう。

○誰でもご飯が食べられるようにするために、どんなことができるでしょう。

○好きなことを好きと言ったり、一人でも意見が言えるために、どんなことが大切なのでしょう。

などを子どもたちに考えさせ、意見交流をしました。少し難しい内容でしたが、互いに認め合い尊重し合うことの大切さに目を向けることができました。



3年 『21世紀サダコストーリー』『沖縄慰霊の日』『原爆投下について』

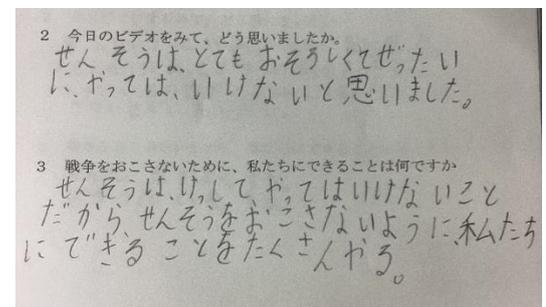
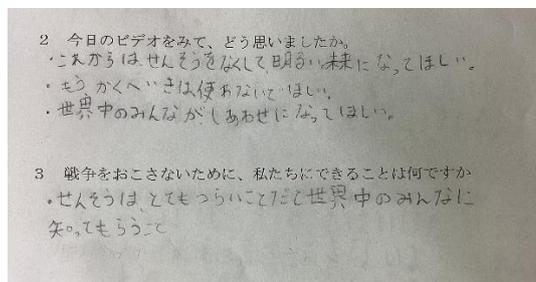
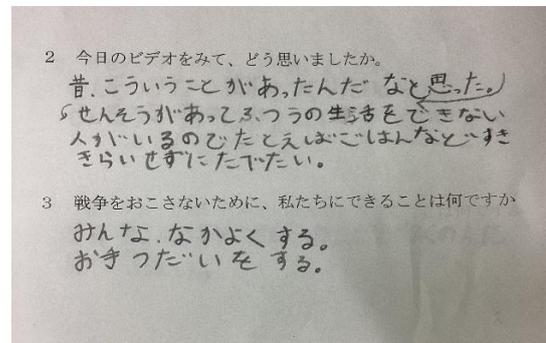
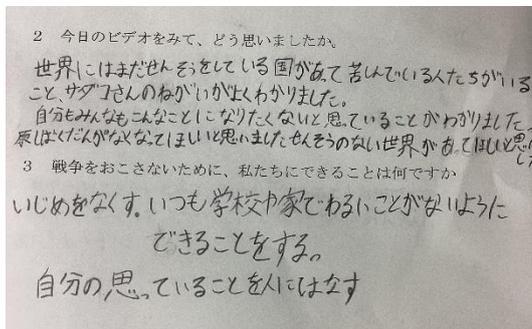
ねらい

悲惨な沖縄戦や原爆投下を通して77年前にあった事実を伝え、知ることで、自分がどのような行動を起こすべきかを考える。

現在は観光地としての側面が強い沖縄県のイメージを児童と共有し、今から77年前の出来事との対比をしました。上空からの沖縄戦没者墓苑の写真を見せ、戦没者の名前が一人ずつ刻まれていることを伝えることで、多くの方が亡くなったイメージができるように工夫しました。

また、『21世紀サダコストーリー』を視聴し、児童と年齢の近い佐々木貞子氏の「生きたい」という願いや、千羽鶴に込められた思いも伝えた。

そして、戦争をおこさないために、自分ができることについて考えた。



4年 「平和について考えよう」～SDGs16（平和と公正をすべての人に）～

なぜロシアとウクライナは戦争をするのでしょうか。

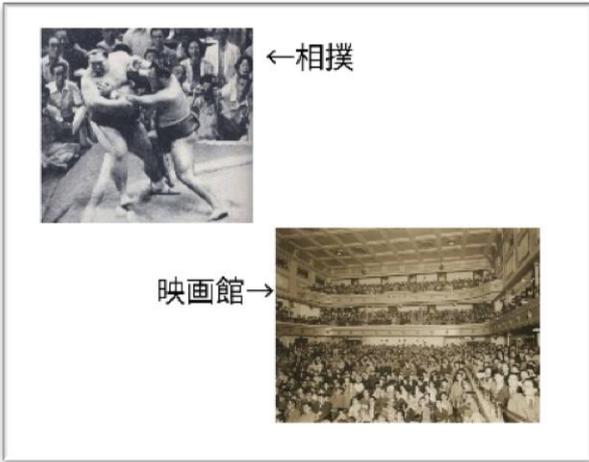
本当の理由はわからないものなのかもしれません。しかし、わかっている事実から、だれもが持つであろうこの疑問を子どもたちとともに考えてみました。人（国々）との関わりの中で生活する、子どもたちや我々（日本）にとって、争い（戦争）のない時代をつくることは、永遠の課題です。

・総合の時間での平和調べ

戦争と衣食住、戦争と学校、戦争と娯楽（遊び）という3班に分かれて、戦争に関する本やipadを使い、調べ学習を行った。

○戦争中の人々の暮らし、衣類、食べ物を調べて、今との違いに驚いたり、戦争中は学校でも戦争に協力することを教えていたことについてとても衝撃を受けていた。

○戦争と娯楽（遊び）では、今の遊びの元祖を知り、「この時代にもこの遊びがあったんだ！」という声が聞かれた。



『ヒロシマのうた』

○被爆直後から戦後15年目の夏までの様子を読み取り、長い年月の間で、作中の人物や世の中にどんな変化があったのか、人物はどのような思いでいたのかを想像していく。

○戦争の悲惨さと、母親の愛情の深さ、「わたし」の心情について考えよう。

